

特集

全員が リーダーシップを発揮し合う チーム

相互の影響力が
自己効力感と高い成果を導く

シェアド・リーダーシップ

これからのリーダーシップのあり方として、リーダーシップ論「シェアド・リーダーシップ (shared leadership)」が注目されています。公式のリーダー1人だけではなく、そこにいるメンバー全員が自分の特性を活かして影響力を発揮し合い、チームや組織の目標達成を目指す、というものです。シェアド・リーダーシップが有効な職場の特性として、「曖昧で、創造性や素早さが求められ、かつ専門性の高い職場」が挙げられており、看護の職場こそそのメリットを享受できそうです。また、保田江美氏の研究から、シェアド・リーダーシップが看護の職場のチームワークや新人看護師の成長に寄与することも明らかになっています。

本特集では、このシェアド・リーダーシップを「全員がリーダーシップを発揮し合うチーム」と位置づけ、多角的に詳説するとともに、看護部組織でそれを実現するための方法論を考察します。